

J A 自己改革推進レポートについて

令和6年11月25日

J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取いなばの取り組み

① 広域八東あんぽ柿加工施設開所式

J A 鳥取いなばは10月14日、広域八東あんぽ柿加工施設の開所式を開き、特産柿「西条」を使った「あんぽ柿」の加工をスタートした。

開所式では、作業員25人が加工日程やコンプライアンスについて確認し、意識を高めた。

「あんぽ柿」は、渋柿の「西条」の皮をむき、4日間乾燥させる。干し柿でも水分が多く、とろりとした食感と濃厚な甘さが特徴で、季節を代表する人気商品となっている。

同J Aでは生産者の所得増大に向け、管内の選果場で選別された西条柿を「あんぽ柿」に加工し、付加価値を高め、有利販売につなげていく。



② 「食パラダイス鳥取県」いなば農産物フェスタ

J A 鳥取いなばは10月19日から21日までの3日間、鳥取市のヤマタスポーツパークで開催された、『「食と農」の祭典・「食パラダイス鳥取県」いなば農産物フェスタ』に参加した。県東部農畜産物の消費拡大や情報発信をすることを目的に開催された。

今回は同日程で開催された「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を盛り上げるため、併せて開催された「ふるさとグルメ市」

「ふるさと物産市」にも参加。県民を含め全国から集まる選手・役員など多くのお客様をいなばの農産物や食でおもてなしするとともに、「食パラダイス鳥取県」の魅力強く発信した。



以上